

報告書〔5〕 分析結果及びフローシート

5 ウラン

整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析実施機関名					
分析主担当者名	*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

< ICP質量分析法 >
 試料の適量 ⑧
 |
 (前処理又は希釈) ③
 |
 一定容量とする ④
 |
 定量 ⑤⑥⑦⑨⑩⑪⑫

< 分析法等 >

分析法	1. ICP質量分析法 2. その他()
試料の分取量	⑧()ml
前処理等の方法	③ 1. 塩酸性で煮沸 2. 硝酸酸性で煮沸 3. 塩酸による分解 4. 硝酸による分解 5. 硝酸と塩酸による分解 6. 硝酸と過塩素酸による分解 7. 硝酸と硫酸による分解 8. 希釈を行う 9. 何も行わない(前処理及び希釈とも行わない)
前処理等後の定容量	④()ml
測定質量数	⑤()

< ICP質量分析法 >

使用した水の純度	⑥ 1. 蒸留水 2. 1枚交換水 3. その他()
バックグラウンド補正	⑦ 1. 行う 2. 行わない
チューブに用いた元素	⑨ 1. Li, Y, Tl 2. Li, Co, Y 3. Co, Y, La 4. Be, Y, Tl又はBi 5. Y, La, Tl又はBi 6. その他()

< 検量線の作成等 >

定量方法	① 1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 3. の場合の内標準物質 ① 1. タリム 2. その他()
検量線の作成	作成点数②() 範囲③()~④() 単位 ⑤ 1. µg又はng(注入量) 2. mg/l(濃度) 最高濃度の指示値⑥() 空試験値指示値⑦()
試料の指示値	⑧()

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

前処理について	-----
測定方法について	-----